

ふたかみ NEWS プチトマト



1月13日の休日開所で「書き初め」をしました！
今年の抱負や意気込みを力いっぱい書くことが出来ました。
お昼からはお正月遊びとして、「羽子板」「福笑い」「二人羽織り」をしました！
どの遊びも大盛り上がりで、初笑いとなりました♪ (辰巳)



社会福祉法人ふたかみ福祉会

〒583-0856 大阪府羽曳野市白鳥 3-16-1 木村ビル 4 階 TEL 072-959-3221 FAX 072-957-1604

Email: futakami@kagayaku-inochi.com <https://kagayaku-inochi.com/company/>

発行責任者：石本悦二 編集責任者：関口奈緒美



ハピバールもちつき大会

今年もハピバールでは、毎年恒例のもちつき大会が行われました。地域の方々にもたくさん参加して頂き、賑わいをみせていました。

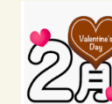
なかまのみなさんも重たい杵で「ぺったん。ぺったん。」と力強くお餅をつかれ、季節の行事を楽しみました。また、地域のみなさんともたくさん交流することができ、良い新年を迎えることができました。



戸田廣之さんが描いた大阪の名所が一筆箋になりました。
デザインは8パターンと盛り合わせの計10枚、封筒2枚が入って500円になってます。
大阪土産や一言メッセージを書いて贈っても喜ばれるはず
です！是非お買い求め下さい。



物品販売☆イベント



はびきの園

18日(火) 葛井寺	10:00~14:00
25日(火) 道明寺	10:00~14:00
28日(金) 滝谷不動	9:00~14:00



■後援会入会及び更新の方々(敬称略)

【2019年度12月】

・大伴改太
・佐藤美幸 長谷輝子 新田金次

.....以上4口

.....以上1口

■ボランティア であい様/畑英作様/細川直幸様/松倉和代様/垣内秀夫様

■アルミ缶回収(12月分) 1020kg

ありがとうございました

◆2019年度ふたかみ福祉会後援会入会、更新のお願い◆

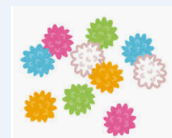
法人では「ハピバール」も2周年を迎え、日中事業所や相談支援、暮らしの場の充実をはかっています。
皆様の引き続きのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

【個人会費：1口3,000円 団体費：1口10,000円】 郵便振替口座：00940-5-325894



アトリエ班の取り組み

冬のボーナスが12月に支給され、アトリエ班はあべのハルカス内にあるバイキングレストラン「お日さまのえがお」に行ってきました。様々な料理があり何を食べようか悩みながらも、各自食べたい物を堪能することが出来ました。ハルカス内でスターバックスに行ったり、本屋さんで買いたい雑誌を買ったりと楽しい時間を過ごす事が出来ました！（森本）



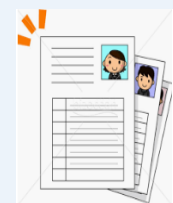
リサイクル班取り組み

コンペイトウミュージアム、昼食はハピバールに行ってきました！製造体験では、みんな上手にできていました！（寺村）



居酒屋で忘年会

木工班の仲間から「忘年会をやりたい」「普段仕事以外で職員と話す機会がないから、そんな時間を作って欲しい」「お酒の場で職員と楽しく話したい」との声が上がり、予算やお店を一緒に決めて、お酒も交えながらの忘年会を行いました。代表3名に乾杯と挨拶をしてもらう中で、普段では見られない仲間の一面を見ることも出来ました。終わってから「今日はほんまに楽しかった！来年もやりたいな」との声を聞くことが出来ました。送迎を行わない為、ご家族のご理解とご協力があったからこそ実現できた企画だと思えます。今後も仲間の声がある限り続けて行きたいです。（山田）



就労移行支援事業所「はびサポート」

はびサポートは、主な支援内容として、なかまの「働きたい！」という願いを叶えるため、「生活面の支援」「仕事上で必要な実技のスキルアップ」「就職活動のサポート」「就職後の定着支援」等を行っております。

また、他の近隣施設にはないハピサポートの特徴として、「パソコン等を使った事務系」「箱折り等の作業を行う作業系」の支援を「同時に受けることができる施設」となっております。

現在、「なかま3名・支援員2名」ですが、支援学校からの夏季実習等も受入れ、多くの方に利用して頂いております。

これから、「なかま」がより良い生活を送る上で大切な「就職」について、出来る限りサポートさせて頂きたいと思っております。（谷口）

12月14日にはされん（羽曳野市作業所施設連絡協議会）の研修に参加してきました。講師は、青木道忠先生。テーマは『作業所、施設を障害のある人が安心して、喜びややりがいのもてる場に』でした。2つの事例を基に、障害のある人達を『丸ごとを理解する』について語って頂きました。

『丸ごとの理解』とは、その人の障害特性や発達段階に加えて、成育歴やその人自身が置かれている環境から紐解き、『こだわりの世界』への理解が必要として、『こだわりの』は、問題行動として、捉えてしまうことが多くあります。しかし、否定的な姿に惑わされるのではなく、そこには本人のより良く生きようとする力に共感しつつ、客観視する力が必要です。また、良い事も悪い事も、好きなことや嫌いな事、出来る事を捉えることが重要で、仮説を基に実践して、その中にある小さな変化に気づき、さらに新たな仮説と実践を繰り返すことで、本人の要求を



発見していくことが大切だと語られました。そして、発達保障にある現状に発達するサイクルを理解する事と、関係機関、専門機関との連携も軽視できない事を教えてくれました。

青木先生のお話は、いつも発達保障等の科学的な視点を中心として、たくさん経験に基づいて、解りやすい話をしてくれました。作業所、施設が障害のある人達にとって安心できる場になり、喜びややりがいを感じられる場になるには、多面的な視点を持ち、多様な要求に対して肯定的に寄り添う大切さを解りやすく確認させてくれました。

そして、私達の向き合う仲間に対して、高度な専門性が必要であることや、明日からの実践に役立つヒントと勇気をもらえる講座でした。（大伴）

署名活動(きょうされん第43次国会請願署名・募金運動キャンペーン)が始まりました

昨年の42次署名では全国で101万筆を超える署名を国会に届ける事ができました。ふたかみ福祉会でも1784筆が集まりました。今年も皆様是非ご協力をお願いします。

先月で日本政府が障害者権利条約を批准してから6年が経過しましたが、それにより望まれた国内の福祉関連法制の拡充は未だ進んでいません。日本の障害福祉の予算はOECD(経済協力開発機構)加盟国の平均を下回っています。障害基礎年金の支給額は1級認定で毎月81,260円となっており、当事者は一人暮らしはもちろん結婚生活をする事もままならないのが現実です。所得補償が十分に行われなため、親や兄弟の支援に頼らざるを得ません。

障害者福祉事業所に支払われる基本報酬も少なくなる中、事業所は厳しい運営を余儀なくされており、利用する障害のある方々の生活にも影響を及ぼしています。安定した事業所運営ができるように、そしてその事業所で働く労働者の人手不足解消や労働条件の引き上げが実現できるように、今回の署名では2021年度の報酬改定に向けた訴えを盛り込んでいます。

※挟み込んでいる署名にご記入していただき、下記のふたかみ福祉会事業所にご連絡いただくか、直接お声掛けくださると幸いです。（東）

【支援センターはる】羽曳野市白鳥3-16-1 木村ビル4階 TEL: 072-957-7021
 【はびきの園】羽曳野市駒ヶ谷106-1 TEL: 072-957-4041
 【大西記念センター】羽曳野市誉田7-808-1 TEL: 072-931-2040
 【ハピバール】羽曳野市西浦1112-1 TEL: 072-958-3232